上水道通水式擧行せらる

「三百五十余戸に給水」町民待望の当町上水道工事も着々進行し、上水道通水式が、小春日和の快晴に恵まれた三月二十四日知事さん始め来賓並に関係者多数参列の上盛大に挙行されました。同日引続き消火栓より放水が行われ、上水道の威容を遺憾なく発揮し、参列者の賞讃をうけました。この工事は昭和二十八年三月着手総工費二千六百万円、給水人口七千人、一日最大配水量千五十トン、一人当り一五〇リットル、の給水を目標として計画され昨年の暮より夏にかけ町の中心街に配水管三、三〇〇米を布設し、水源は一時府向日町競輪場水道施設を利用給水して居つたのでありますが、二十九年度工事に於ては京都市より給水を受ける事について協議が整いました為配水管を延長連絡致し、本年一月一日に通水なりましたので三百五十余戸に対し、京都市よりの水を新たに給水したのであります。現在の最大配水量は、京都市より取水一日七百トンにして、火災に備え消火栓も各要所に二十六個設置されて居り、さらに引続き西向日水源地附近に新水源施設を増設し、配水管の拡張も計画されて居り、昭和三十年度に於て完了する予定であります。

上は　町長式辞
下は消火栓による放水状況

春の火災シーズンをひかえ
火災はどうすれば防げるか

昔から諺に、地震、雷、火事、親爺という言葉がありますが、近年この中に台風と洪水が加えられる様になつて参りました。これは世の中の最も恐しいものを表現している言葉の様に、地震や雷、台風洪水等は不可抗力的なもの、避けることの出来ないものだと思われているのでありますが、或る程度の予防と防備によつて最少限にくいとめることが出来るものであります。

殊に火災においては、その原因の九分九厘までは人為的で、人の不注意から起つている事が判ります。この恐れられた火事も私達の常日頃の注意と予防によつて全くその災害からまぬがれることが出来るのであります。

毎日の新聞のどこかに火事の記事がのっていない日はありません。漏電、油引火、花火と必ず原因までのせてあります。それほど火事の多い私達の国でもあります。それに又世界中で一番火の用心につとめる国民でもあるともいわれております。といつても火の用心はいくらしてもこれでよいと決していえないものであります。

それは私達が今だに木と紙で造られた一番燃え易い建物に住んでいるからであります。一寸した不注意から長い年月、努力に努力を重ねて貯えて造った家財は一瞬にして灰になつてしまい、その上他人にも迷惑をかける事さえあるのであります。この様にして火事の恐しいことは子供でさえ解つておるのでありますが、仲々火に対する注意が足りないので、三十分間に一件づつの火災が全国のどこかで起きているのであります。

折角復興しつゝある住宅も資源もこの様にして毎日焼失しており、全く勿体ない話であります。

当町におきましても年々相当多くの消防予算を計上して各部落に手挽ガソリンポンプを備えて常に団員の訓練を実施し、一朝有事に最大の効果を挙るべく努力をしておりますが、町民各位におかれましても、一人一人が消防員になつた積りで各家庭の火災の予防に格段の御努力を御願いする次第であります。

次に全国で一年間にどれだけの火災が発生し、その原因が何であるか調べてどの様な所に注意をすればよいか、を考えて見ましょう。

昭和二十八年中、全国では二万五千六百七十七件の火災が発生しており、その損害見積額は実に二百四十二億五千五百八十二万六百一円となつており、昭和二十五年一万九千二百四十三件に比べて著しい激増を示しており、その上火災発生件数は年々増加しつつある現状であります。

その原因別の件数を挙げて見ますと次の様であります。

原因	件数	原因	件数	原因	件数	原因	件数
不明	三、三三二	取灰	一、二四五	ストーブ	三五一	電燈	一四五
油引火	二、五三〇	かまど	一、二二七	風呂場	三三一	自然発火	一三八
煙突	二、三三三	こたつ	一、〇八七	乾燥物	三三二	薬品	一〇一
弄火	一、八九〇	放火	八六八	マッチ	三二一	火消壺	八八
漏電	一、八七三	こんろ	八三七	火鉢	二八二	汽車煤煙	八一
たばこ	一、八八五	電熱器	六八九	ガス	二三三	火薬	八〇
その他	一、八一	灯火	五三〇	機械	一〇三	セルロイド	八〇
焚火	一、三四二	鋳	四四七	雷火	一五二	フイルム	五六

この表にみる様に、最近石油コンロの普及によつて、これが原因となる火災も著しく増加を示しており、使用される家庭では、細心の注意をせねばなりません。又煙突による火災も亦多いのですが、各家庭に於ても煙突が壁板について沿い、屋根裏の板に煙突のついたものが多いのを見うけますが、これは最も多い火事の原因になります。少なくとも煙突の周囲は五寸位あけるか、不燃材料で囲む様にせねばなりません。

又最近子供のマッチの弄びにより火災が起きていることが多い様です。留守中子供は花火やマッチを弄び思わぬ災害を招く時がありますから、常日頃子供にマッチは持たせないように注意する様御願いします。この様にしてその原因となる火の元に注意する事によつて災害より免れ、予防することが出来るのです。

一年中で最も火災の多い月は三月項より六月頃までと九月頃から十一月頃までです。この時期は最も湿度が下り乾燥しているからであります。亦一日中で時間的に火災の発生の多い時は午前九時頃より十二時頃が最も多く、午後五時前後と午後十一時前後も亦多く発生している事が判ります。

この様にして私達の郷土を火災より守り災害から避ける事によつて、もつと明るい住みよい町を建設しましょう。

去る三月七日から一週間全国一斉に春の防火予防週間が実施されたのでありますが、三月、四月、五月の頃は湿度が非常に低下し物が乾燥しきつて火災に留りますから、特に火災に御注意下さいまして、この向日町を火災から皆さんと共に守りましょう。

モダンな特耐住宅完成

【既報】特種耐火住宅は昨年十二月中旬、上植野小字北小路四十一番地にクリーム色のモダンな姿で北面に東西八戸と七戸の二棟式連続住宅として見事完成しましたので、十二月二十三日竣功式を挙行しました。

団地の周囲は大変閑静で、電車の便もよく住宅環境としては、申分のない最適地であります。

竣功式に先だち十二月十七日午後三時より、役場会議室で入居申込者五十五名に対する、公開抽せんを行い、更に町条例に基いて当せん者の資格審査の上、左記十五名の方に、二十六日付で入居を承認した。

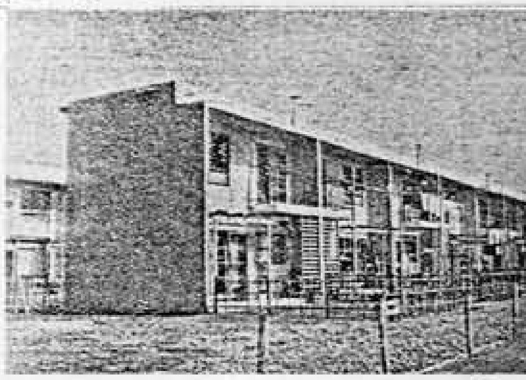
記

抽せん番号	住宅番号	入居者
一七	一号	由布　新晋
二八	二号	牛尾　宗雄
三一	三号	坂本　泰生
二四	四号	佐野　好吉
四〇	五号	稲葉　寛
五〇	六号	中村　敏夫
四八	七号	有森　一雄
五	八号	秋山　正二
五六	九号	杉本陽之助
二一	十号	門屋　環
四	十一号	服部　広治
一	十二号	磯永松治郎
七	十三号	伊藤　勝
三八	十四号	糸井　広志
二〇	十五号	寺本眞四郎

前記入居者の一部の方は、早速年内に入居されて、木の香も新らしい住宅で新春を迎えられた方もあり、一月末には全部入居を終りました。

これ等入居者の方が、相つどい、親睦と融和をはかる意味において、以和貴会を組織され、初代会長として伊藤勝氏が就任、熱心に以和貴会の運営に努力しています。

貯蓄への希望



家計の上で貯蓄を実行するには、「収入」と「支出」の結果が常にいくらかでも「残る」のでなければ貯蓄は出来ません。

しかし「残る」ということは、実は「残す」のであります。収入が少なくても九割五分位の生活費ですまされれば、たとえ五分の少額でも残るのは、割り切つた話でありますが、ただ判るだけでは、なかなか出来ないのが、貯蓄であります。

それになぜ今使わずにためるか、それはくらしを豊かにするためであります。貯金は人間をいかし繁栄さすものです。貯金すれば、どんな幸運が来るかも判りません。必ず出来るものです。貯金するからこそ、家計も豊かになり、家庭も明るくなります。戦後インフレもやつとおさまつて、物価も安定して来ましたが、農産物の如きは、却つて安くなるものも出来農村の暮しは余り楽観を許しません、私達は苦しいのを我慢して無駄をはぶき消費を節約して、まず貯蓄をいたしましょう。

農業協同組合では、皆さんに貯金箱を配つて、毎月定つた日に集金に伺つております。肥料貯金、天引貯金、つもり貯金……等、倹約して貯金箱へ入れましょう。そして必要な時に、何時でも使える様に、家屋の修繕の為にミシンやタンス等の家具を買うために、一家団楽の旅行に出かける為にも……ささやかな備えが積つて行く日を楽しみに貯えましょう

向日町農協　松田

弁論大会について青年諸兄姉へ

元向日町青年団長　岸上伊一

去る三月六日青年団総会並びに弁論大会を開きました所、多数御出席された事は大いなる喜びと存じます。

静かに心辺に眼を向け思いを遙かに致す時皆様は多くの問題を発見される事でしょう。

日本の歴史始つて以来の一大汚点である大戦とそれによつて来る敗戦を経験されました。皆様はあらゆる面に於て極めて困難な問題に逢着されつつある事はここで私が申しのべる迄もありません。古くから「兵意と敗亡を知らない者は語るに足らず」と申しますが敗戦と引続いての米国の支配を経験致しました、我々青年は日本歴史上の如何なる時代に於ける青年より、偉大であるべきです。人生に於て最も多感にして希望ある青年であつて見れば「人間如何に生くべきか」一の大命題に矢々一面の見解と科学的解答の一部を用意されつつあります。ここで皆様に一言申しのべたい事は、実にこの事なのです。更に具体的に申すならば「敗戦と米国の支配より発生した日本民族にとつて、青年諸君にとつて、多くの問題を前にして吾等は何をなすべきか」と云う事なのです。

余りにも多くの問題をどうしようもない様を力を致して打破するか、それとも逆に負けて民族滅亡の道を選ぶか一つにかかつて吾人の双肩にあるのです。かつての中国人は「メーファーズ」と呼びロシアの民衆は「ニーチェウォ」と云つてあえて問題を問題として取り上げ様としなかつたのです。かつての中国もロシアも現在の日本より更に多くの困難に逢着していたのです。しかし今日のソ連中国はどうでありましょう。考え反省し努力しくり返し前進して、ついに歴史の歯車を回転させ希望と栄光の彼岸へと前進せしめたのではありませんか。

ここで一言ことわつておきますが、私は共産思想を信ずるものでも、民族主義に共鳴する者でもありません。私は私の良識のみを信ずるものであります。所で話をもとへもどしますが、吾々を希望と栄光へ案内してくれる力は、我々一人一人の力ではありません。一人一人の力を社会を集め群を成し時代を動かしてこそ前途に希望が生れるのです。僕を点を集となし面に前進させるには、我々の考えを他の第三者に知らしめ共感を合力を得なければなりますまい。弁論の必要な訳です。所で私は雄弁を極めて嫌うものの一人なのです。

かつてギリシャに於きましては、雄弁こそは人間至上の宝の様に信じられた時がありました。人々は争つて雄弁の台に登りました。所謂ソフィストです。ソフィスト達は雄弁をもて遊び内容と思想を忘れました。その結果人類最初の実践哲学たるかのソクラテスをして毒盃をあふがせたのです。

今日日本に於ては一人のソクラテスなく、唯いたずらなソフィストのみ満ちて居るかの如く見受けます。選挙に於て議会に於て雄弁は曲つたものを直くみせ真理から遙かに遠い身手勝手な考えを真理の如く見せかける為に利用されている様に考えます。こう言う状態では敗戦国日本をして平和なる幸福の彼方につける事は出来ないのではないかと考えるものです。

皆様によつて論ぜられる弁論は弁論の為にした雄弁であつてはなりません。言葉が自ら考え実践した事の報告であり問題の提起でなければなりません。足元にころがつている小さいのが極めて重要な問題を取り上げて頂きたいと念願します。

単に弁をもつて、甲乙を争うが如き弁論大会は今日の日本に於ては無用と考えるものです。以上私の思想を申しのべた次第です。

店頭装飾
コンクール

向日町の商店九八店が参加して、店頭装飾コンクールをやろうと一昨年暮第一回をはじめ、昨年暮第二回の店頭装飾コンクールを、府能率研究所山本技師、鶏谷保健所長、馬屋原地方事務所長等招聘し、顧客に感じのよい店、衛生上から見た店、美化の店、そうしてサービスとあらゆる観点から観察し審査の上、採点した結果次の様に入賞した。

優秀賞　辻山久兵衛、丸中薬局、花久文具店、トミヤ帽子店

努力賞　辻井呉服店、万御酒店、丸橋菓子店、奉公屋菓子店、紅葉屋洋品雑化店、神崎屋青果店。

かくして向日町の店々は美しく明るく買いよい、店になつて行くことでしよう。